

事業報告書

事業名	令和3年度介護福祉士リーダー育成及び介護の価値発信事業
事業の実施状況	<p>第1 介護福祉士リーダー育成事業</p> <p>1 オンラインを活用したリーダー研修会（講師養成研修） 日本介護福祉士会の介護福祉士の生涯研修体系に定める軸となる研修を全国で推進するため、各地で当該研修の講師を養成するリーダー研修会を開催した。 ただし、令和3年度は、コロナ禍の影響を踏まえ、集合での開催は見送り、オンラインを活用した研修プログラムにて、4種類の研修会を開催した。</p> <p>(1) リーダー研修（前期）講師養成特別講座</p> <p>① プログラム</p> <p>ア オンラインによる映像コンテンツ視聴 令和3年7月12日（月）～7月20日（火）</p> <p>イ 映像コンテンツを踏まえた事後課題提出 令和3年8月9日（月）締切</p> <p>ウ オンラインによるライブ講義 令和3年9月3日（金）17時半～19時</p> <p>② 研修講師</p> <p>ア 白井孝子氏（東京福祉専門学校副学校長） イ 石本淳也氏（日本介護福祉士会前会長）</p> <p>③ 参加対象者</p> <p>以下のア、イを満たし、ウ若しくはエを満たす者</p> <p>ア 介護福祉士資格取得後、現場経験（介護職、ケアマネジャー、相談業務、管理職、教育職）5年以上</p> <p>イ 支部から推薦を受けた者</p> <p>ウ 現在支部において研修の講師をしている者</p> <p>エ 今後支部において研修の講師を予定している者</p> <p>④ 受講状況</p> <p>ア 受講者数 11名 イ 修了者数 11名</p>

(2) リーダー研修会（後期）サービス提供責任者研修講師養成研修

① プログラム

ア 講義（サービス提供責任者研修の意義等）

令和3年12月3日（金）10時から17時

イ グループワーク（授業案の作成等）

令和3年12月10日（金）9時半～15時半

ウ 模擬授業・講評

令和3年12月18日（土）9時半～16時半

② 研修講師

白井孝子氏（東京福祉専門学校副学校長）

③ 参加対象者

今年度または過去にリーダー研修（前期）を受講しており、各都道府県で行われるサービス提供責任者研修において講師を務める予定の者

④ 受講状況

ア 受講者数 8名

イ 修了者数 8名

(3) リーダー研修会（後期）介護福祉士基本研修講師養成研修会

① プログラム

ア 講義（介護福祉士基本研修の意義等）

令和4年1月7日（金）10時から17時

イ グループワーク（授業案の作成等）

令和4年1月14日（金）9時半～15時半

ウ 模擬授業・講評

令和4年1月21日（金）9時半～16時半

② 研修講師

伊藤優子氏（北海道医療大学先端研究推進センター客員教授）

③ 参加対象者

今年度または過去にリーダー研修（前期）を受講しており、各都道府県で行われる介護福祉士基本研修において講師を務める予定の者

④ 受講状況

ア 受講者数 16名

イ 修了者数 16名

(4) リーダー研修会（後期）ファーストステップ研修講師養成研修会

① プログラム

ア 講義（ファーストステップ研修の意義等）

令和4年2月4日（金）10時から17時

イ グループワーク（授業案の作成等）

令和4年2月11日（金）9時半～15時半

ウ 模擬授業・講評

令和4年2月18日（金）9時半～16時半

② 研修講師

ア 鈴木俊文氏（静岡県立大学短期大学部社会福祉学科准教授）

イ 石本淳也氏（日本介護福祉士会前会長）

③ 参加対象者

今年度または過去にリーダー研修（前期）を受講しており、各都道府県で行われるファーストステップ研修において講師を務める予定の者

④ 受講状況

ア 受講者数 20名

イ 修了者数 16名

2 オンラインを活用した介護福祉士基本研修

介護福祉士には、介護現場のリーダーとして、その役割を担うことが期待されているが、その際に最も重要となるのが、介護過程の展開に係る理解であるが、コロナ禍の影響により、当該内容を担保するための介護福祉士基本研修を開催できていない都道府県介護福祉士会がある。

そこで、当該研修を、そのような都道府県介護福祉士会において開催できるよう、昨年度モデル的に実施したオンラインの枠組みで介護福祉士基本研修を提供した。

(1) 研修概要

① 開催概要

ア 映像コンテンツの視聴・確認テストの提供

(ア) 1回目

令和3年9月中

(イ) 2回目

令和4年2月中

イ オンラインによるライブ講義等

各都道府県介護福祉士会で設定

- ② 講師
各都道府県介護福祉士会で設定
- ③ 参加対象者
介護福祉士資格取得後、概ね2年未満の者

(2) 受講状況

- ① 1回目
受講者数 12名(1県)
- ② 2回目
受講者数 83名(5県)

(3) 提供した動画コンテンツ

- ① 求められる介護福祉士像(講師;及川ゆりこ会長)
- ② 介護福祉士の倫理(講師;藤野裕子常任理事)
- ③ 生活支援としての介護の視点(講師;宮崎則男副会長)
- ④ 自立支援の考え方(講師;今村文典副会長)
- ⑤ 介護福祉士に求められる知識と技術(講師;石本淳也前会長)
- ⑥ ICFの視点(講師;永嶋昌樹常任理事)
- ⑦ 多職種連携・記録・コミュニケーション(講師;安達眞理子常任理事)

3 都道府県介護福祉士の講師等を対象とした勉強会

全国の都道府県介護福祉士会において、時宜に応じた各種研修を推進いただくため、各都道府県介護福祉士の講師等を対象とした各種勉強会を開催した。

その際、コロナ禍の影響を踏まえオンラインによる勉強会とした。

(1) 災害担当者における勉強会

日本介護福祉士会及び都道府県介護福祉士会では、これまで、発災時に、国や各都道府県の窓口と調整するなどし、例えば、東日本大震災、新潟県中越地震、熊本大地震のほか、鳥取地震、西日本豪雨災害時に、介護職種のボランティアを派遣し対応してきた実績がある。

しかし、災害支援福祉チーム(DWAT)体制の強化が進む今、職能団体としてどのような役割を担うべきか等について改めて検討する必要がある。

そこで、まずは、現在の災害支援福祉チームの体制整備状況等や国の対応方針等を理解しつつ、各都道府県の状況を把握することを目的として開催した。

- ① 日時：令和3年7月20日（火）14時～16時
- ② 開催方法；オンライン（ZOOM）
- ③ プログラム
 - ・ 行政説明 本間 隆氏（厚生労働省社会・援護局）
 - ・ 事例報告 石本淳也氏（熊本県介護福祉士会会長）
 - ・ 意見交換（グループ討議）
- ④ 参加者数；47名

（2）L I F Eの勉強会

新たに導入されたL I F Eが、今後、介護福祉士会が実施する研修の中でも触れる機会が出てくることを見据え、都道府県介護福祉士会で講師や研修担当役員をされている方などを対象として、L I F Eについての基本的な理解を共有するとともに、各種研修の中でどのようにL I F Eを取り上げていくか等について意見交換を行うことを目的として実施した。

- ① 日時：令和3年9月1日（水）18時～20時
- ② 開催方法；オンライン（ZOOM）
- ③ プログラム
 - ・ 概要説明 藤野裕子氏（生涯研修体系検討委員長）
 - ・ 取組報告 井口健一郎氏（小田原福祉会）
 - ・ 意見交換（グループ討議）
- ④ 参加者数；68名

（3）介護現場におけるハラスメント対策に関する勉強会

ハラスメント対策については、職場のセクハラについては男女雇用機会均等法において、職場のパワハラについては労働施策総合推進法において、それぞれ事業主に対して、事業主の方針等の明確化や相談体制の整備等の雇用管理上の措置を講じることを義務付けられている。今回の介護報酬の改定では全ての介護サービス事業者に必要なハラスメント対策が求められていることを受け、都道府県介護福祉士会で講師や研修担当役員をされている方などを対象に、研修の中などでどのようにハラスメント対策について取り上げていくか等について、意見交換を行うことを目的として開催した。

- ① 日時：令和3年9月17日（金）18時～20時
- ② 開催方法；オンライン（ZOOM）
- ③ プログラム

- ・ 概要説明 藤野裕子氏（生涯研修体系検討委員長）
- ・ 取組報告 1（埼玉県介護福祉士会ご担当者様）
- ・ 取組報告 2（愛知県介護福祉士会ご担当者様）
- ・ 意見交換（グループ討議）

④ 参加者数；51名

（4）介護ロボットの効果的活用に関する勉強会

介護現場に「介護ロボット」という、介護の質向上のチャンスが吹き込んでいる。労働力の制約が強まる中での医療・介護サービスの確保のために、テクノロジーの活用及び生産性の向上は必須でもあり、介護福祉士会として、適切な介護ロボットの導入及びICT運用のオペレーションを担い、介護サービスにおける益々の質及び生産性の向上を担保する役割があると考えている。

しかし、介護ロボットの利活用はまだ進んでいない。そこで、我が国における介護ロボットに係る全体像を理解するとともに、介護ロボットの活用事例を共有したうえで、介護福祉士として、どのように介護ロボットに向き合っていくかを深めることを目的として開催した。

① 日時：令和3年11月26日（金）18時～20時

② 開催方法；オンライン（ZOOM）

③ プログラム；

- ・ 基調講演 本田幸夫先生（東京大学大学院工学系研究科）
- ・ 講演 舟田伸司氏（富山県介護福祉士会会長）
- ・ 取組報告 水間真理氏（白寿会特養いぶき苑）
- ・ 事例提供 舟田伸司氏（富山県介護福祉士会会長）

④ 参加者数；35名

4 オンラインならではの価値ある研修とするコツをまなぼう！

コロナ禍の影響を受け、全国的に集合研修の開催が難しくなり、やむを得ずオンラインを活用した研修が広がっているが、せっかく開催するならば、やむを得ず行う研修ではなく、オンラインだからこそその価値ある研修を開催すべきである。

そこで、オンラインだからこそその研修の開催方法等について学ぶ研修を企画した。

① 日時；令和3年9月21日（火）18～20時

② 開催方法；オンライン（ZOOM）

③ 講師；坂本文武先生（一般社団法人 Medical Studio）

④ 参加者数；100名

5 介護過程実践事例集の作成

新たに導入されたLIFEを、介護福祉士の専門性である介護過程の中でどのように運用されているか、または、運用することが望まれるかについては大きな課題となっている。

他方で、同旨の調査研究事業（社会福祉推進事業）が厚生労働省で予定されていること等を踏まえ、当該事業を採択されたシンクタンクと協働で、当該調査研究を実施することとし、その中で、社会福祉推進事業の実施報告書とは別に、介護福祉士の役割に着眼した実践事例集を作成し、本事例集をもって、全国の都道府県介護福祉士会において、当該内容に係る研修を実施する際の資料として活用いただくことを目的として、当該事業に取り組んだ。

第2 介護の価値発信事業

1 介護福祉士の専門性・役割を明確にしていく研究会

これまで、一般社団法人日本在宅ケアアライアンス（新田國夫理事長）において、日本介護福祉士会も参画し、介護福祉士の専門性・役割に係る議論が積み重ねられてきた。

この議論は、他職種からの要介護者等に対する視点から整理したものであるが、広く国民に介護福祉士の価値を伝えるためには、より具体的で、より明確に専門性が綴られた書籍を世の中に送り出す必要がある。

そこで、介護福祉の専門職能団体である日本介護福祉士会として、介護福祉の研究者太田貞司氏とともに、当該書籍化を実現させることを目的として本研究会を立ち上げた。

① 構成メンバー

- ・ 太田貞司氏（日本介護福祉学会会長（当時））
- ・ 大島伸一氏（国立長寿医療研究センター名誉総長）
- ・ 辻 哲夫氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）
- ・ 太田秀樹氏（医療法人アスミス理事長）
- ・ 石本淳也氏（日本介護福祉士会相談役）
- ・ 及川ゆりこ会長
- ・ 蘆野吉和氏（日本在宅医療連合学会代表理事）
- ・ 新田國夫氏（日本在宅ケアアライアンス代表理事）
- ・ 北澤彰浩氏（佐久総合病院地域ケア科医長）

- ・ 川村佐和子氏（聖隷クリストファー大学看護学部教授）
- ・ 堀田聰子氏（慶應義塾大学大学院教授）
- ・ 金山峰之氏（ケアソーシャルワーク研究所）
- ・ 八須祐一郎氏（千葉県介護福祉士会会長）

② 開催日時・テーマ等

ア 第1回

日時；令和3年6月3日（木）18時から19時半まで

開催方法；オンライン（ZOOM）

開催内容；介護福祉士の法的制度の流れ

発題者；辻哲夫先生

イ 第2回

日時；令和3年7月15日（木）17時から19時まで

開催方法；オンライン（ZOOM）

開催内容；認定介護福祉士の誕生

発題者；諏訪徹先生

ウ 第3回

日時；令和3年9月7日（火）17時から19時まで

開催方法；オンライン（ZOOM）

開催内容；介護人材を巡る環境の変化と介護人材確保政策の
あゆみ/介護福祉士の専門職能のジレンマ

発題者；石本淳也氏、及川ゆりこ氏

エ 第4回

日時；令和3年10月19日（火）17時から19時まで

開催方法；オンライン（ZOOM）

開催内容；医療から見た介護について

発題者；太田秀樹先生

オ 第5回

日時；令和3年12月13日（月）17時から19時まで

開催方法；オンライン（ZOOM）

開催内容；定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの実践

発題者；及川ゆりこ氏

2 介護の今と昔（タイムリープ企画）

令和3年度にスタートさせた企画で、介護のあり方の変化に着眼し、昔の介護を振り返り、今の介護との違いを見直すことで、介護の進化、介護の価値等について、国民に発見・再確認等していただくことを目的としてWEB企画として取り組んだ。

	<p>(1) 執筆者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 井口健一郎氏 (社会福祉法人小田原福祉会) ・ 風晴賢治氏 (日本介護福祉士会常任理事) <p>(2) 執筆内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 第1回; 排泄ケアの変遷 ② 第2回; 食事ケアの変遷 <p>3 介護百人一首</p> <p>介護百人一首は、NHK教育テレビ「福祉ネットワーク」で介護の日々を詠んだ「介護短歌」を紹介したことが発端でスタートした企画であり、令和3年度からは、NHKサービスセンターが受け継ぎ実施されることになった。介護の苦労や悲哀、相手を思いやる優しさや愛おしさ、ふれあいから生まれるユーモアやおかしさなど、さまざまな思いが詠まれており、介護に触れる機会を提供する機会にもなることから、日本介護福祉士会として企画協力をして進めた。</p> <p>本企画では、「介護の日」に絡めた形で進めることとし、日本介護福祉士会の全国大会・学会にも絡めた形で展開した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>事業の成果</p>	<p>第1 介護福祉士リーダー育成事業</p> <p>1 オンラインを活用したリーダー研修会 (講師養成研修)</p> <p>全国の介護福祉士の質の向上等を図るために欠かせない日本介護福祉士会の介護福祉士の生涯研修体系に定める軸となる研修を全国で推進するためには、各地で当該研修の講師を養成することが欠かせない。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に行った試行的なオンラインによる研修会の実施を踏まえ、全日オンラインによる研修会を開催した。</p> <p>この取組により、全国の都道府県介護福祉士会において、各種研修を担うことができるオンライン対応も可能な講師を育成することが実現し、時代の要請に叶った取組となった。</p> <p>2 オンラインを活用した介護福祉士基本研修</p> <p>介護福祉士が、介護現場のリーダーとしての役割を担うことが期待されており、その際に最も重要となる「介護過程の展開」に係る理解を担保するための介護福祉士基本研修は、極めて重要な研修であると考えている。</p>

令和3年度も、都道府県介護福祉士会によっては、コロナ禍の影響で、当該研修の実施を見合わせるといった事態があったが、そのような都道府県介護福祉士会にあっても、オンラインによる当該研修が実施でき、より多くの介護現場のリーダーを育成することができた。

3 都道府県介護福祉士会の講師等を対象とした勉強会

全国の都道府県介護福祉士会において、時宜に応じた各種研修を推進いただくためには、各案件に対する職能団体としての考え方等を全国の都道府県介護福祉士会と共有しつつ、お伝えする内容についてのレベル感も一定水準を確保する必要がある。

そこで、都道府県介護福祉士会の講師等を対象とする勉強会を開催することとし、令和3年度は、報告書に記載した内容等の各種勉強会を開催し、意見交換も含めることで、目的は一定達成することができた。

4 オンラインならではの価値ある研修とするコツをまなぼう！

コロナ禍の影響を受け、やむを得ずオンラインを活用した研修が広がっていたなか、本研修を行うことで、全国の都道府県介護福祉士会において開催されるオンライン研修の展開方法に工夫がみられるようになったとの声も届いている

オンラインだからこそその価値ある研修の実現は、研修の実施側にも受講者側にもメリットとなっている

5 介護過程実践事例集の作成

介護過程の展開にLIFEをどのように活用され得るのか、介護福祉士が如何に介護過程に向き合うのか等について着眼した報告書を作成した。

本報告書については、6月の都道府県介護福祉士会を対象とした事業報告会の中で、丁寧に説明をし、活用を促す予定としている。

第2 介護の価値発信事業

1 介護福祉士の専門性・役割を明確にしていく研究会

他職種の皆さまにもご参画いただいた意見交換を積み重ねる中で、出版化させる道筋が一定整理することができた。

令和3年度の研究会の実績を踏まえ、令和4年度には、当該書籍化

の編集委員会を立ち上げ、年度内発刊に向けて動き出している。

2 介護の今と昔（タイムリープ企画）

「誰でもできるもの」という印象のある介護の今と昔を比較・確認することができるコンテンツを提供することで、今行われている介護の価値を認識することができるようになった。

このことにより、目で見える形で、介護の価値等について確認でき、介護の価値の周知・拡散に繋げることができた。

3 介護百人一首

1万首をこえる応募があり、また、入賞の100首は、11月11日「介護の日」に発表され、さらに、日本介護福祉士会の全国大会・学会でも本企画説明がなされた。

この経緯の中で、より多くの国民が、介護に向き合う機会を提供することができたものと考えており、さらに、「介護の日」にからめることで、「介護の日」の周知にも繋げることができた。

以上